

宗務所婦人会報

第34号



曹洞宗宮城県宗務所婦人会



光明寺（石巻市）の乙女観音

目次

「あいさつ」	宗務所婦人会長	森 すみえ… 2	コロナ撃退隊? …………… 9
「挨拶」	宗務所長	三田村道雄… 3	表紙説明・光明寺のお観音さま…………… 9
「身近なSDGs」			「ちょこっとの自慢」 今野なみい…10
	東北管区教化センター統監	高橋 哲秋… 4	ボランティア活動報告……………11
SDGs（エスディーズ）とは……………		5	絵本を届ける運動……………11
「仲間とともに」		伊藤 洋子… 6	評議員報告……………12
「千羽鶴への祈り」		瀬戸 洋子… 7	編集後記……………12
「コロナ禍の中で」		金澤 洋子… 8	

あいわじ

曹洞宗宮城県宗務所婦人会 会長 森 すみえ



婦人会の皆さまご健勝にお
過しでしょうか。新型コロナ
ウイルス感染症がでて二年に
なります。誰が想像を超えて
このように長引くと思ったこ
とでしょう。

緊急事態宣言、まん延防止
法等が出るなか、一年延期し
て開催された「東京二〇二〇
オリンピック・パラリンピック」
は中止の声が多数を占め
ていました。ほぼ無観客のな
かで各選手はモチベーション
を高め、最大限の力を出し、
テレビ観戦をしている私達に
感動をあたえてくれました。
婦人会も昨年同様、新型コ

ロナウイルス感染症は収束す
る様子がないことから、二月
には岩手県担当の婦人会東北
研修会の再延期のお知らせが
届きました。「曹洞宗婦人会
本部総会」も書面表決にて、
承認されました。

本会も宗務所と相談し、四
月の総会・研修会の延期、ま
たは中止を決めました。議
事は役員会にて了承していた
だき十月に書面でのお知らせ
となりました。

また、先月よりコロナウイ
ルス感染症が収束の兆しが感
じられましたので、久しぶり
に外出し、山元町の「徳本寺」
で開催された「テレホン法話
ライブ」に行きました。ライ
ブで御詠歌を唱えられるのが、
當行寺家族の岡崎るみ子さん
です。毎回のお召し物も楽し

みでした。東京から毎年参加
されている方が、ライブの時
に着ていただきたいと、着物
一式をプレゼントしてください
たそうです。今回るみ子さん
がその着物を着られました。
上品でりっぱな着物に皆ため
息ができました。その方は「徳
泉寺」(二・一)の大津波で
被災)を再興するために始め
たはがき一枚の「文字写経」に、
四〇枚以上のはがきを提供し
てくださったそうです。

また、「徳泉寺」が完成す
るまでに法華経全文をおひと
りで書かれて納経されたそう
です。頭が下がります。

コロナがこのまま収束する
ようでしたら、一月の新年研
修会についても開催できるの
ではと考えています。しかし
ながら年末年始の交流で、一
月末にまた増えるのではの予
想が出ています。これ
からも油断をせず密をさけ、
マスク着用を怠らないように
したいものです。

曹洞宗婦人会会員の誓い

おしみない心で

どうぞさしあげます

〈布施〉

やさしい笑顔で

どうぞしっかり

〈愛語〉

幸せを祈って

どうぞおさきに

〈利行〉

手をとりあって

どうぞごいっしょに

〈同事〉

私は、今日も菩薩さまの

願いに生きます

挨拶

曹洞宗宮城県宗務所長 三田村 道雄



婦人会会員の皆様には、常日頃、菩提寺を通しての活動、並びに宗務所行政にお力添えを賜っていることに、深く感謝を申し上げます。

年々地球温暖化に伴う気候変動により、今年の夏も大変暑い日が続きました。新型コロナウイルス感染症拡大に伴い「緊急事態宣言」が発令される中、東京オリンピック・パラリンピックが真夏に、無観客状態（一部を除き）で開催されました。メダルラッシュ

に大変盛り上がりましたが、閉会後は、コロナウイルス感染者が拡大し、当県においても「緊急事態措置」、後に「まん延防止等重点措置」が適用されました。

令和二年一月から我が国における新型コロナウイルス感染症が流行し、間もなく二年になろうとしています。当初は、高齢者ほど罹りやすく重症化しやすいことが言われ、この感染症に罹らないために三密を避ける、ステイホーム、自粛と言われてきました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大というこれまでに経験したことのない困難に直面する中で、感染者、医療従

事者やその家族の方々などに対する偏見や差別といった新たな人権問題も発生しています。

人権とは、「全ての人々が生命と自由を確保し、それぞれの幸福を追求する権利」あるいは、「人間が人間らしく生きる権利で、生まれながらに持つ権利」であり、誰にとっても身近で大切なもの、違いを認め合う心によって守られるものです。お互いに思いやりの心をもって相手を気遣うことが大切ではないかと存じます。

宗門では平成三年、『人権・平和・環境』のスローガンを定めております。

人権の尊重・平和の確立・環境の保全、世界平和の実現に向けて、様々な活動に取り組んでいます。

本年四月頃から、新型コロナウイルスの接種が行われ、接種拡大と共に、ようやく光明が見え始めて来たようすが……。

婦人会活動におきましては、感染者が減っている状況とはいえども、まだまだコロナ禍ということで、今までの活動ができず自粛している状態ではないかと思えます。今後菩提寺の住職様、寺族様と共にお話しをしながら、感染予防に努め活動して頂きますようお願いいたします。

結びに、会員皆様のご多幸と、各婦人会様の益々のご隆昌、宗務所婦人会のご発展を心からご祈念申し上げ、挨拶といたします。

合掌

身近なSDGs

曹洞宗東北管区教化センター統監 高橋 哲秋



宮城県宗務所婦人会の皆様におかれましては、一昨年来のコロナ禍にあって集まることも思うにまかせず、ご苦労されたことと存じます。また、感染された方には心よりお見舞い申し上げます。

新型コロナウイルスに限らず、人体に有害な物質は、私たちの身近に多く存在しています。ワクチン接種など、うまく付き合って行かなければなりません。

オンライン「禅をきく会」

例年、仙台市長町の樂々々ホールで開催しておりました「禅をきく会」には、いつもご参加下さり感謝申し上げます。令和三年度は、コロナ禍のため、ユーチューブのライブ配信と致しました。直接、会場にお迎えできず、申し訳あり

ません。しかし遠方の方には好評であり、大変多くの方に見て戴きました。来年度は樂々々ホールで開催すると共に、ライブ配信を予定しております。

管区研修会

東北管区研修会は、本年は延期されましたので、令和四年七月七八日の両日、岩手県花巻温泉千秋閣で開催予定です。

是非、ご参加下さい。

身近なSDGs

SDGsは、国連で採択された二〇三〇年までに達成を目指す十七の国際目標です。曹洞宗では、菩薩さまの願いと営みとしてSDGsに取り組んでいます。「菩薩さまの願いに生きる」ことは、曹洞宗婦人会の誓いです。

誰一人取り残さない持続可能な社会の実践に向けて私たちができる行動があります。十七の目標を私たちの日常生活に取り入れられる行動として一関市が具体的に紹介しています。

① 貧困をなくそう

↓世界や国内の貧困や格差の問題を知ろう。フードバンク活動に協力しよう。

② 飢饉をゼロに

↓地産地消に取り組もう。「もったいない」を意識して、食べ残しを減らそう。

③ すべての人に健康と福祉を

↓定期的健(検)診を受けよう。運動の習慣化、食生活の改善など、健康に気を使おう。

④ 質の高い教育をみんなに

↓地域の祭りや行事に参加するなど、子供たちの体験や交流を豊かにする応援をしよう。

⑤ ジェンダー平等を実現しよう

↓仕事も子育ても、家族が協力し合って分担しよう。

⑥ 安全な水とトイレを世界中に

↓水を無駄にしないように蛇口をこまめに締めよう。

⑦ エネルギーをみんなに

そしてクリーンに

↓使わない時は電化製品のコンセントを抜くなど、節電に心掛けよう。

⑧ 働きがいも 経済成長も

↓ワークライフバランスを考え、上手に働こう。

⑨ 産業と技術革新の基盤をつくろう

↓身近なインフラ整備がどのようになっているか考えてみよう。

⑩ 人や国の不平等をなくそう

↓さまざまな国の文化について調べてみよう。手話や点訳、音訳などについて調べてみよう。

⑪ 住み続けられるまちづくりを

↓地域の活動に参加し、よりよいまちづくりについて考えてみよう。

⑫ つくる責任 つかう責任

↓ものを大切にしよう。ごみの分別を徹底し、リサイクルを心掛けよう。

⑬ 気候変動に具体的な対策を

↓冷暖房の設定を控えるなど、日頃から地球温暖化防止を意識した行動を心掛けよう。

⑭ 海の豊かさを守ろう

↓地域の清掃活動に参加し、ごみを捨てにくい環境をつくろう。エコバックを使用しよう。

⑮ 陸の豊かさを守ろう

↓植林活動や森づくりに参加してみよう。ティッシュペーパーや紙を無駄にしないようにしよう。

⑯ 平和と公正をすべての人に

↓選挙に行くなど、積極的に政治に参加しよう。子供たちを暴力や犯罪から守ろう。

⑰ パートナーシップで

目標を達成しよう

↓みんなで協力して社会課題や地域課題に取り組もう。

(岩手県遠應寺住職)

SDGs= 世界を変えるための 17の目標

1 貧困をなくそう  貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに  飢餓をゼロに
3 すべての人に健康と福祉を  すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに  質の高い教育をみんなに
5 ジェンダー平等を実現しよう  ジェンダー平等を実現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に  安全な水とトイレを世界中に
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに  エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も  働きがいも経済成長も
9 産業と技術革新の基盤をつくろう  産業と技術革新の基盤をつくろう	10 人や国の不平等をなくそう  人や国の不平等をなくそう
11 住み続けられるまちづくりを  住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任つかう責任  つくる責任つかう責任
13 気候変動に具体的な対策を  気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう  海の豊かさを守ろう
15 陸の豊かさを守ろう  陸の豊かさを守ろう	16 平和と公正をすべての人に  平和と公正をすべての人に
17 パートナリシップで目標を達成しよう  パートナーシップで目標を達成しよう	

SDGs (エスディーズ)とは

曹洞宗とのかかわり

一九九一年以降、曹洞宗は「人権・平和・環境」をスローガンとして、さまざまな活動に取り組んできました。その軌跡は、SDGsが目指すだれ一人取り残さない世界の実に

現に結ばれます。一人一人が

曹洞宗の教えをひたむきに努めることがSDGs実践として結実するのです。決して特別ではない曹洞禅の日々の営みが、未来を開く力なのです。

曹洞宗の教えとSDGs

曹洞宗の教えには、坐禅の実践に限らず、食べ物や水などを真実の姿そのものとして尊び、無駄にせず大切に丁寧にいただくという修行生活の実践が示されています。また、困難を抱えて生きている人々の苦しみを、少しでも和らげることができるよう、願い、行動するという菩薩行の実践も説かれています。これらは、社会全体や相手のための行いであると同時に、自分自身をさとの実証者である仏として成長させる大切な修行でもあります。

SDGsへの取り組みを通じて、人はどう生きるべきかという重要な問いに対する答えが、禅の生き方の実践として

曹洞禅



て実現されるのです。

曹洞宗におけるSDGsの取り組みは、単なる社会貢献活動としてだけでなく、禅の信仰実践としても位置づけられるのです。

(転載には、宗務庁の許可を得ております。)



コロナ禍の婦人会活動

仲間とともに

耕田寺婦人会

伊藤 洋子

令和三年二月十三日二十三時八分、震度六強を記録する福島県沖地震が発生しました。私たちの耕田寺は利府長町断層が本堂の真下を通っているために、地震のたびに被害を受けることが悩みの種です。このとき仙台市宮城野区は震度五強でしたが、強い揺れが原因で、本堂の位牌堂が被害に遭ったと寺族様から連絡をいただきました。翌日には役員が集まりました。再建し、補強対策を施したはずの位牌堂の床には位牌が散乱しており、言葉を失いました。この日は



住職様の指示のもと、位牌を区域毎に並べるだけで精一杯でした。住職様の肩を落とす姿に、東日本大震災から十年の節目にあたり、改めて地震の恐ろしさを痛感しました。九月に入って、秋田県の大工さんをお願いした地震対策が完了したとのことで、位牌堂の整理

整頓をすることになりました。

九月十八日、婦人会の十人が集まりました。まだまだコロナ感染が心配な時期です。お寺の玄関には非接触式体温計やアルコール消毒噴霧器を設置して安全管理に努め、全員がマスクを着用します。作業は、位牌を一列ずつ下ろして、テーブルに並べて丁寧に汚れを拭き取ります。位牌を並べるための棚と、新たに設置したアクリル板のほこりも拭き取りました。

位牌を手際よく並べ直し、次の列へと進めていきます。密を避け、感染対策を徹底するために換気扇、空気清浄器を起動して作業をおこないました。これまでも位牌堂の移転や清掃のときに活動をしてきましたが、各々のご先祖様はもちろん、友人・知人を含めた多くの故人様に思いを馳せながら奉仕できたので、きれいに整った位牌堂を見て、とても清々しい気持ちに



なりました。作業のあとは久しぶりの昼食会です。この二年間は飲食の機会を自粛していましたが、感染予防の対策をした広間で住職様からのお弁当を美味しくいただきました。パーティーションで区切った広間の席にひとつ置きに座り、いつもなら大皿を回して分け合った漬物も個別に取り分けました。少し寂しくも感じましたが、皆が元気であればこそという気持ちになれば合点がいくものです。互い

の近況報告をしながら、これからの奉仕活動について日程と内容の確認をして、各々帰路に就きました。

コロナ感染予防のため活動が制限されていますが、それでも墓地クリーン作戦は継続して実施しており、今年は一月三十日、三月十七日、八月二十二日、十月二日に集まって、清掃をしました。お盆の明けた八月の会には三十人ほどの役員会、婦人会の仲間が集いました。本当にありがたいことだと、日々の皆様の協力に感謝の気持ちでいっぱいです。徐々にコロナも落ち着いてきたようで、しばらく控えていた御詠歌の練習も再開できるとの嬉しいニュースが聞こえてきました。十二月五日には成道会が予定されていますので、このまま様々な活動が増えてくることを楽しみにしています。早くコロナが収束し、住職様寺族様や

役員、会員の皆様が健康に過ごされ、来年こそ落慶法要が営まれ、皆様と新しいスタートをお祝いできればと願っています。これからも日々の奉仕活動に参加できることを感謝し、小さな積み重ねを続けながら精進してまいります。

合掌

千羽鶴への祈り

圓通院婦人会

瀬戸 洋子

“コロナ”という言葉が、日常化して早二年が過ぎようとしています。この言葉が生活の一部になってしまいました。毎回報道に一喜一憂しています。ちなみに、本日（十月二十三日）は、コロナで、亡くなられた方は、一万八千人に、なってしまいました。

ワクチン接種者は、約七〇%で、八千六百万人となっています。

ワクチンが、もっと早く普及されていれればと思うと残念でなりません。

そこで、円通院婦人会では、志半ばで犠牲となり亡くなられた方々を、慰霊することの意味で、千羽鶴を、観音様へ奉納することにいたしました。

皆で、一人一人心をこめ、二度と、この様な悲惨な時代が、来ないよう願いながら取り組みました。鶴を折っていて、自然に、亡くなられた方を思い出し涙がでました。

折り鶴の得意な人、そうでない人、昔やったことがあるけど、今は自信がない人、様々ですが、私達の祈りが、亡くなられた方々が苦しみのない安心な世界へ渡れますことを願っています。



コロナ撃退隊？

圓通院婦人会

世の中を見直し、豊かな資本主義の日本を憂いている訳ではないが、コロナ禍で自分の物の豊かさを痛感した。外出もできず着なかつた服、持たなかつたバッグ、履かなかつた靴。現役を引退した物ではないのに、脚光をあびなかつた。何が必要で、何が多いのか？つくづく感じた時でした。若い人は、ネットで使えない物を買ったり、買ったりにしている。物を少なく持つ。これも良いのかなと：感じる。着なくなった着物はほどき、上着やコートに変身。帯はバッグや、小物入れに、洋服はほどき、袋物を作った。これも多くはいらない。人あげるにも、相手が必要としているか？心配。作業の手の動きが鈍くなる。

友達は、「古着でワクチン」に

協力している。ある雑誌が窓口となり、開発途上国の子供にポリオ等のワクチンを届けるNPO法人。昔、日本も、ミルクやワクチン等の医薬品を援助してもらい、多くの恩恵を受けました。今度は、お返しする番。お互い様の精神です。以前にスウェーデンの、老人社会福祉施設を訪問したことがある。皆さん、トイレに行く時も、シャワーする時も、天井に備えてあるレールについた機具で移動していた。多少、人の手は借りるが自立している。寝たきりの方は、いなかった。本を読んだり、刺繍したり、楽しんでた。服も、この国の人には、多くは持たず、代々家に伝わる毛皮のコート、服、マフラー等、大切に持ち、同じ服を着ても、イヤリング、ブローチ、ネックレス

ス等でコーディネートし、変化を楽しんでいる。物は良い物を少し持つ、というお国柄でした。日本は、物が豊富、買うことで社会へ貢献してきたのかな？と、自分を慰め反省している。コロナ禍で物への考え方が、変わりました。身の回りを少しずつ片づけ、断捨離パーティーでも、するかな？と。自分の出来る形で、社会貢献して行こうと思つてます。痛い痛い飛んでゆけ！

表紙説明

石巻市 光明寺のお観音さま

乙女観音

昭和四年七月二十三日、鹿又実科高等女学校寄宿舎より火災が発生し校舎は全焼し寄宿生五が焼死。火災の原因は、消灯後勉強を続けるために用いたローソクの火が布団に移り時を経て燃え上がったものといわれる。焼死体の中には、姉妹で抱き合つた姿もあり涙を誘つた。

光明寺仏教婦人の会

光明寺十六世願心浄一和尚は、学業中途にして逝つた乙女たちの霊を弔い、県下の学校に呼びかけ浄財を得て、総高十六尺の石造り観音像を一周忌に併せて建立した。観音像は母校を守護するがごとく、いつの間にかその向きを母校の方角にかえたといわれる。観音様は、乙女の非業を悼み香の絶えぬいとまがない。

ちよこつとのお慢

清水寺仏教婦人会

今野 なみい

六月末に実家の義姉が八十六歳で亡くなりました。甥夫婦は兄の時は葬祭会館でしたが、今回は施設や病院生活が長かったので家から出したいとの事で自宅に祭壇を飾って頂きました。その時、祭壇の後方、左右に白い布、幕と言えば良いのかわかりませんが、その幕に水墨画の様に何かが描かれていました。良く見ると涅槃図でした。

二月十五日お釈迦様が亡くなられた日、我が菩提寺清水寺で毎年行っている涅槃会、本堂に大きな涅槃図、いつも御住職様が説法して下さっている涅槃図がその幕にうつすらと描かれていました。

我が家も自宅から送りましたが初めてその様な幕を見たのでびっくり。「えっ涅槃図が描かれている！」廻りは誰も知らないのでは何

事が描かれているのか、何をいつているのか不思議顔。そこで、御住職様からの受け売りを、おばちゃん

の私は得意になって、御住職様の教えを自慢げに説明です。「清水寺では毎年二月十五日涅槃会と

いう行事があってね、その時にこの幕に描いてある涅槃図を掛けて、その涅槃と言うのはお釈迦様が亡くなられた日二月十五日なんだからね。その亡くなった時の様子が描かれているのが涅槃図なのね。

多くの大小の動物までもお釈迦様の亡くなられた事を悲しんでいる様子、空想動物も描かれているけど、その中にはねこだけは描かれていないんだなあ。ここに大きな木があるでしょ、この木は沙羅双樹の木で、別名夏椿と言う白いきれいな花を咲かせるけど、長く咲いてはいないなあ、この涅槃図では沙羅双樹の木だね、木の上の方に描かれている人はお釈迦様のお母さん、心配で、そうだよ、我が子を心配しない親などいないものね、元気になれって薬を投げた

んだけどこの沙羅の木にひっかかってお釈迦様に届かなかったんだって。この薄く描かれているのが亡くなった様子、そして二月十五日が私達が命日と言っているお釈迦様の亡くなられた日だって、「ふうーん。そうなんだ、今までこの様な図も、もちろん幕も見ただ事なかつたなあ。」甥夫婦や姪夫婦も感心しながら聞いていました。得意になったおばちゃん。「このお釈迦様のお母さんの名前はなんて言うか知っている？摩耶って言うんだよ。いつも涅槃会の時に御住職が話してくれるからね。私の記憶が確かならね。」「勉強になったなあ、やっぱりおばちゃんだ。」

義姉は私が六歳の時に長兄に嫁がちだった為、母親代わりに育ててもらった義姉でした。何のありがとうもしないまま逝ってしまいました。でも、この涅槃図の幕のお陰で甥や姪達にいつも御住職様が教えて下さっている事を話せた事がお釈迦様の弟子となった義姉

にありがとうになったかなあ。この様子をみていましたか、いつも心配してくれてありがとうございました。「母ちゃんさ行くけど、なみちゃんこねのが、変わりないのが。いつもなみちゃんの名前ばかりだよ、娘が行ってもね。」笑っていた姪。大丈夫だから安心下さい。今日は、清水寺の御住職様の説法のお陰様でちょっとだけ自慢げに、ちよこつとだけ威張って話せ、亡くなって悲しい、淋しいはずなのに、いい気分だ義姉を送れた事もいつも菩提寺に行ける機会を頂いている御先祖様方や家族皆のお陰様です。そして、いつも御仏様の説法をわかりやすくお話しして下さいます。ありがとうございます。

ちよこつと自慢した

おばちゃん

ちよこつといい気分になれた

おばちゃん

報告

ボランティア活動

清水寺仏教婦人会

昨年九月、曹洞宗婦人会本部より令和二年七月四日に発生した

で残っていた品を発送いたしました。

球磨川豪雨災害による被災者への支援物資の要請がありました。

後日、熊本県宗務所婦人会会長様より早急の対応への感謝と、今

タオルケット・毛布・夏掛布団・シーツを会員の皆さま、お寺さまから提供していただいた品、バザー

後も被災者の方へ寄り添って復興へ向けて歩みますとの決意を綴った

札状をいただきました。制限ある中でも活動つづけております。今後ともご協力、よろしくお願い申し上げます。



絵本を届ける運動に参加しましょう

SVA(シャンティ国際ボラン

ティア会)は、東南アジア諸国が

内戦等で子供達の教育環境が著しく悪化の一途をたどる実情にボラ

ンティア活動の大きな柱として「絵本を届ける運動」を展開して

全国曹洞宗青年会や曹洞宗婦人会

に働きかけ、それに賛同した各種

団体、個人が広くお手伝いして来た

運動でした。母体となっているSVAから届

けられた絵本に現地語のシールを

貼りつけて「一冊でも多く読ませ

てあげたい」と。

SDGs(エスディーズ)の十七項目の目標の内「質の高い



評議員報告

評議員 岡崎 るみ子
森 すみえ

「宗報」(曹洞宗で毎月発行の機関誌)に本部婦人会の「ミニ・きゃら」より。『できることから始める』と活動目標が掲載されました。

SDGs (エスディーズ)

ゴミを減らす暮らしの工夫「4R」を始めましょう。

ゴミと共にムダが減ることを意識して

① Refuse (リフューズ)
「断る」

… いらぬものを断ることで
ゴミが生まれない。

☆ 買物にマイバッグを持参し、

不要な包装は断る。

☆ 使い捨て食器(プラスチックス
プーン・割りばし等)を断る。

② Reduce (リデュース)

「減らす」

… ゴミになりそうなものが減
るような選択をしよう。

☆ 食べきれぬ分だけ買う

☆ 物を購入するときは長く使える
ものを買う。

☆ 詰め替え容器を使う。

③ Reuse (リユース)

「繰り返し使う」

… 今あるものを大切にして、
繰り返し使おう。

☆ 使わなくなった物は必要として
いる人に譲る。

☆ 修理して繰り返し使う。

④ Recycle (リサイクル)

「再利用する」

… 正しく分別し、もう一度原

料として活用しよう。

☆ 正しく分別するとリサイクルで
きる。

大量に物を買って、大量のごみを
出すことは、購入・廃棄のお金、

捨てる手間がかかります。毎日の

暮らしで4Rを実践すると、ゴミ

やムダを省けるだけでなく、資源

を節約でき、地球温暖化の原因と

される温室効果ガスの発生を抑え
られます。

4Rに取り組んで地球のために
行動してみましょう。毎日のちよっ

とした心がけでごみが減ります。

発行

曹洞宗宮城県宗務所婦人会

〒981-1311

仙台市泉区市名坂字

榎町一六九-四

電話 〇二二-二二八-三八〇一

曹洞宗宮城県宗務所内

編集後記

いろいろなたくさんあった一年
でした。

「環境問題」「気候変動」が大きく、
具体的に話し合われたり、騒がれ
た年でもありました。

昨年からのコロナウイルス感染症
も幅広い年齢層にワクチン接種が
行なわれ下火になりつつも、人流
が多くなる時期にはその後のこと
が心配されております。その結果
以前のような計画が延期・中止が
もう取沙汰されています。そのよ
うな中で各婦人会では工夫して何
とか会存続に努力していることが
見られ心強く思いました。

コミュニケーションにも不安を感じられ
一日も早くコロナ禍より脱してい
との思いで環境衛生に気をつけて
おります。そんな中でも小学校・
中学校・高校等でSDGsを学び
実践に取り組んでいると言われて
ますが、若人に学び私達も出来る
ことから始めましょう。

集まれなくとも、家庭で、個人で
できることがSDGs(エスディ
ーズ)活動にたくさんあることを
今一度見直して行こうと思います。

(担当者一同)